

メディアコンテンツ制作実習基礎

科目ナンバリング SOC-207
選択必修B 2単位

田島 悠来

1. 授業の概要(ねらい)

本授業では、“「アイドル」をつくる”をテーマにし、「アイドル」(人)＝メディア・コンテンツとみなして、学術的な視点から「アイドル」を研究した成果として、受講生自身が新しいオリジナルな「アイドル」をつくり、それらを披露する展示空間＝一つのコンテンツを生みだすことを目指します。まずは、これまでメディアを通じて形づくられてきた「アイドル」とそのファンの歴史や「アイドル」の型について学んでいくことを通して、「アイドル」に関する基礎的な知識を蓄えていき、「アイドル」をつくるための基盤を整えていきます。具体的には、新旧の「アイドル」に関する映画、歌番組やテレビドラマ、アニメを幅広く分析しつつ、「アイドル」を研究する、さらにいえば、メディア・コンテンツを研究する視座を育みます。また、授業後半は、後期に開催を予定する展示会に向けた準備としてグループワークを中心に作業を進めます。

以上を行うにあたり、次のような受講生を求めます。

- ・「アイドル」が好きで研究することに興味がある
- ・自分自身の特性を生かして「アイドル」的なふるまい(パフォーマンス)を行ってみたい:歌唱、ダンス、演技、図画工作等
- ・「アイドル」を通じて就職活動で役に立つパフォーマンススキルを身につけたい
- ・展示空間をつくり、社会的に発信していくことに興味がある
- ・博物館や図書館での仕事に関心を持っている
- ・社会科学の広報活動を活性化したい

なお、2019年度は、「アイドルを作ろう!～アイドルの型の変遷とニュータイプ～」という展示会を担当教員(田島)のゼミ生後援のもと本学博物館で実施し、1,800名の来場者を得ています。

2. 授業の到達目標

「アイドル」に関する基礎的な知識を蓄える

メディア・コンテンツを研究する視座を育む

自分以外の人も考えが伝わるよう工夫したプレゼンテーションを行う能力を養う

3. 成績評価の方法および基準

平常点50%:授業の参加度(積極的に発言できているか、担当教員や他の受講生とコミュニケーションがとれているか)

課題発表50%:学期中に行う予定の発表とそれに付随するレポート(発表内容を文章化したもの)に対する評価

4. 教科書・参考文献

参考文献

田島悠来 「アイドル」のメディア史:『明星』とヤングの70年代 森話社

5. 準備学修の内容

「アイドル」に関連するメディア・コンテンツを日常的に摂取することで、予習・復習にあてる

チームによっては授業時間外に協力して計画的に作業を進める

6. その他履修上の注意事項

(1)受講生の人数によっては選抜を行う場合もあるため第1週の出席が必須となります。

(2)複数の「メディアコンテンツ制作実習基礎」へ同時に応募することはできません。

(3)後期の「メディアコンテンツ制作実習(田島担当)」の受講を考えている人は、この実習基礎をかならず受講するようにしてください。

7. 授業内容

- 【第1回】 オリエンテーション・ガイダンス:授業の進め方の説明
- 【第2回】 「アイドル」とファンの歴史と型①
- 【第3回】 「アイドル」とファンの歴史と型②
- 【第4回】 「アイドル」とファンの歴史と型③
- 【第5回】 「アイドル」とファンの歴史と型④
- 【第6回】 「アイドル」とファンの歴史と型⑤
- 【第7回】 課題についての説明
- 【第8回】 課題の準備①
- 【第9回】 課題の準備②
- 【第10回】 課題発表①
- 【第11回】 課題発表②
- 【第12回】 課題発表③
- 【第13回】 課題発表④
- 【第14回】 課題発表⑤
- 【第15回】 総括:前期のまとめ